



東陽病院 副院長 伊藤 文憲

ラ島は脾臓の中に散らばっています。脾臓の手術で一部を切除しても糖尿病にはなりません。このラ島が炎症やその他の原因で萎縮すると、インシュリンの分泌が減少して糖尿病が起ります。また遺伝的にラ島が弱い人は、糖尿病になりやすくなります。

インシュリンは血液の中の糖を細胞の中に運ぶのが仕事です。インシュリンが不足をすると血液の中の糖分が細胞に入らずに高血糖となります。血糖値が高くなると腎臓から糖分が出て尿の量や回数が増えます。この結果水分が不足するための渴意、お水をたくさん飲むようになります。多尿や口渴が糖尿病の初発症状です。また、

脾臓の中には二つの働きがあります。消化を助ける外分泌機能と、血糖の代謝に関係する内分泌機能です。脾臓の組織は外分泌細胞がほとんどで、その中に内分泌細胞があります。インシュリンを分泌する細胞の塊は、ラングルハンス島（以下ラ島）と呼ばれます。ラングルハンス島はドイツの解剖学者の名前で、1869年に脾臓内の独特な細胞集団を発見し、それから命令されました。

ラ島は脾臓の中に散らばっています。脾臓の手術で一部を切除しても糖尿病にはなりません。このラ島が炎症やその他の原因で萎縮すると、インシュリンの分泌が減少して糖尿病が起ります。また遺伝的にラ島が弱い人は、糖尿病になりやすくなります。

ここで、気をつけなければいけないのは、血糖値が高く糖尿病と思っている中に脾臓の病気が隠れている場合です。脾臓の中心を外分泌腺の道である主脾管が通っています。腫瘍を作るタイプや脾石を作るような慢性脾炎でも最初の症状が高血糖であることがあります。脾臓癌でも同じことです。新たに糖尿病を指摘された場合には、脾臓に関して超音波検査やCT検査を必ず受けましょう。

脾臓にはインシュリンの他にもホルモンが出ています。血糖値を下げる働きを持つグルカゴンや胃酸の分泌に関係するガストリシン、その他VIP、GIPなどの消化管の機能を調整するホルモンが出ています。それぞれが異常に産生されると特別な症状を示します。前号の脾臓癌の時に述べた内分泌腫瘍がそれで、通常の脾癌に比べると発育はゆっくりで根治切除が可能なものもありますので、鑑別診断が不可欠です。

※東陽病院の休日当番日

3月23日(日)・4月13日(日)

午前9時～午後5時

医師2名が待機・来院の際は電話を

□⑧1335

メツセレジ

シリーズ⑪

健康への

脾臓病

(Ⅲ)

行すると失明や腎不全にまで至る怖い病気です。

治療法としては最初は食事療法、それでも血糖値が下がらない場合には飲み薬があります。この薬は脾臓のラ島に作用してインシュリンを増産させる作用があります。

ですから長くこの薬を飲むとラ島が疲れてしまい、徐々に効果が薄れます。この場合にはインシュリンを外から注射で補わなければなりません。自己注射といつて自分で注射をすることが保険で認められています。主治医とよく相談してください。



=町立図書館=

□⑧3311

おはなしの世界を 楽しもう！

毎週土曜日午後2時から(30分程度)、おはなし会を行っています。昔話や絵本の読み聞かせ、手遊びなど楽しいお話をいっぱい。お気軽にお越しください。(幼児・小学生対象)

春休み映画会『踊る大捜査線 ザ・ムービー』



期　日 3月23日(日)
上　映　時　間 1回目 午前10時
2回目 午後2時
定　員 各120名
員　場 整理券(無料)を3月8日(土)から図書館カウンターで配布します。

湾岸署史上最悪の3日間

青島刑事(織田裕二)と湾岸署の面々に立ちはだかる巨大な事件の全面解決に挑む！

休館日

3月10日(月)、17日(月)、18日(火)、24日(月)、31日(月)、4月1日(火)、7日(月)